



## 平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月15日

上場会社名 **大和重工株式会社** 上場取引所 東証二部  
 コード番号 5610 URL <http://www.daiwajuko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 保昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 桑田 豊幸 TEL (082) 814-2101  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第1四半期の業績 (平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	1,117	13.8	25	131.1	44	50.5	28	104.3
28年12月期第1四半期	981	△ 9.1	11	△ 33.7	29	△ 14.8	14	△ 49.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年12月期第1四半期	2.13		—	
28年12月期第1四半期	1.04		—	

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
29年12月期第1四半期	6,627		3,338		50.4	246.43		
28年12月期	6,383		3,289		51.5	242.81		

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 3,338百万円 28年12月期 3,289百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年12月期	—		0.00		2.00	2.00
29年12月期	—		—		—	—
29年12月期(予想)	—		—		—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 当社は、定款において中間配当及び期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成29年12月期の業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,100	9.4	△10	—	30	△ 31.6	20	△65.2	1.48	
通期	4,400	11.9	20	—	120	21.8	80	△16.0	5.90	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期 1 Q	13,580,000株	28年12月期	13,580,000株
② 期末自己株式数	29年12月期 1 Q	32,004株	28年12月期	31,681株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期 1 Q	13,548,014株	28年12月期 1 Q	13,549,239株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P. 2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(会計上の見積りの変更) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米国新政権の政策運営が世界経済に与える影響が不安視されており、景気の先行きに不透明感が増しております。

このような経済環境のもと、当社は、厳しい受注競争の中で、新規取引先の獲得をはじめ、積極的な営業展開を図り、受注量の確保と売上高の拡大に注力いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、11億17百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益は25百万円(前年同期比131.1%増)、経常利益は44百万円(前年同期比50.5%増)、四半期純利益は28百万円(前年同期比104.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 〈産業機械関連機器〉

工作機械鋳物部品の分野は、業界全体の受注総額が平成28年12月から平成29年3月まで4カ月連続で、前年同月比増加となっており、企業の設備投資意欲が上がってきているものと思われま

す。日本工作機械工業会による平成29年1月から平成29年3月の受注累計は、前年同期に比べ12.3%の増加となっております。

同期間における当社の工作機械鋳物部品の受注状況も前年同期比7.8%増となっております。

ディーゼルエンジン鋳物部品の分野は、価格面において引続き厳しい状況が続いており、採算面を考慮した対応を図っております。

その結果、当セグメントの売上高は5億45百万円(前年同期比2.3%減)、受注高は6億69百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

## 〈住宅関連機器〉

住宅関連機器の分野は、当社の主力商品であります「鋳物ホーロー浴槽」「やまと風呂」「特注ユニットバス」等は顕著に売上が伸びております。また、新設やリフォームのホテル案件につきましては、引き合いが増加しており、今後の売上拡大が図れるものと期待しております。

その結果、当セグメントの売上高は5億72百万円(前年同期比35.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、66億27百万円となり、前事業年度末に比べ2億43百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が1億31百万円増加したことと、機械及び装置が1億99百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、32億88百万円となり、前事業年度末に比べ1億94百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金が91百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、33億38百万円となり、前事業年度末に比べ48百万円増加いたしました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が47百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.4%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日に公表いたしました平成29年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,054,341	1,186,222
受取手形及び売掛金	1,340,142	1,306,836
商品及び製品	385,782	392,872
仕掛品	145,824	56,797
原材料及び貯蔵品	174,017	170,100
前払費用	772	5,399
繰延税金資産	10,370	28,611
未収入金	50,031	385
その他	619	9,238
流動資産合計	3,161,901	3,156,464
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	604,701	595,414
機械及び装置(純額)	228,627	428,561
土地	372,319	345,428
その他(純額)	128,993	122,727
有形固定資産合計	1,334,641	1,492,131
無形固定資産	7,046	6,014
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,680,334	1,746,228
投資不動産(純額)	132,687	158,451
その他	79,139	79,919
貸倒引当金	△5,150	△5,150
投資損失引当金	△7,000	△7,000
投資その他の資産合計	1,880,011	1,972,448
固定資産合計	3,221,699	3,470,594
資産合計	6,383,601	6,627,059

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,023	647,592
短期借入金	1,371,316	1,396,396
未払法人税等	25,770	37,225
賞与引当金	18,000	71,197
その他	189,804	189,619
流動負債合計	2,253,914	2,342,029
固定負債		
長期借入金	179,008	270,316
繰延税金負債	126,710	146,652
退職給付引当金	403,845	397,893
役員退職慰労引当金	56,562	57,650
資産除去債務	17,730	17,835
長期預り敷金	56,115	56,115
固定負債合計	839,972	946,462
負債合計	3,093,886	3,288,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,859,745	1,861,511
自己株式	△5,535	△5,578
株主資本合計	2,659,584	2,661,307
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	630,130	677,259
評価・換算差額等合計	630,130	677,259
純資産合計	3,289,714	3,338,566
負債純資産合計	6,383,601	6,627,059

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	981,869	1,117,233
売上原価	781,914	893,554
売上総利益	199,955	223,678
販売費及び一般管理費	188,725	197,725
営業利益	11,229	25,952
営業外収益		
受取利息	30	24
受取配当金	397	8
受取地代家賃	25,844	25,382
その他	1,249	1,224
営業外収益合計	27,521	26,640
営業外費用		
支払利息	4,391	3,167
不動産賃貸関係費	4,485	4,465
その他	79	115
営業外費用合計	8,956	7,748
経常利益	29,795	44,845
税引前四半期純利益	29,795	44,845
法人税、住民税及び事業税	28,567	31,995
法人税等調整額	△12,897	△16,013
法人税等合計	15,670	15,982
四半期純利益	14,124	28,862

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。